

4. 感度分析の実施

平成 11 年度から平成 15 年度において新規事業採択を検討した海岸について、新規採択事業評価（案）に基づきアンケートを行い、以下の感度分析を実施した。

(1) 感度分析の考え方

第 2 回研究会において、感度分析を実施するにあたり、以下のケースを設定し、感度分析を行ったが、分析結果の参考に、各ケースを縦軸・横軸にとったクロス集計を実施。

ケース 1：防護面を重視した重み付けを実施した場合。

ケース 2：防護、環境、利用の重みを均等にした重み付けを実施した場合。

ケース 3：実施環境を重視した重み付けを実施した場合。

第 2 回研究会の感度分析の考え方を参考に、極端な重みで感度分析を実施。

ケース 1'：防護面を重視した重み付けを実施した場合。

ケース 2'：自然環境を重視した重み付けを実施した場合。

ケース 3'：実施環境を重視した重み付けを実施した場合。

(2) 事業効率を重視した感度分析の実施

費用対効果にランク付けし、事業効率重視型のケースを実施。

ケース：事業効率を重視した重み付けを実施した場合。

なお、費用対効果のランクは、しきい値の算出方法と同じく、正規分布法で超過確率 20% 以上を 5 点、40% 以上を 4 点とした。（費用対効果 100 以上については除外）

海岸事業新規採択時における費用対効果の標本データ

年度	標本データ（回答値）	標本数
H11～H15	4.55, 4.46, 4.03, 1.19, 2.20, 28.56, 18.80, 10.35, 10.37, 10.00, 2.50, 130.86, 18.99, 2.70, 46.71, 16.90, 121.30, 12.51, 2.15, 4.67, 8.77, 1.54, 237.70, 1.47, 2.04, 1.56, 4.90, 3.10, 1.34, 11.01, 1.26, 9.18, 5.96, 1.36, 1.69, 4.83, 131.58, 722.45, 1.12, 3.42, 5.54, 2.35, 11.63, 2.73, 3.71, 12.06, 4.60, 20.18, 1.65, 2.11, 3.21, 1.00, 1.22, 1.15, 5.94, 9.06, 1.62, 2.18, 4.26, 2.00, 3.63, 2.53, 1.32, 1.30, 1.86, 1.50, 4.09, 1.73, 1.42, 1.47, 1.52, 7.47, 3.48, 2.67, 1.96, 1.45, 1.47, 1.40, 11.90, 1.60, 1.86	(81) 76

計算結果

超過確率	全データ	100 以上除外データ
10%	132.25	14.74
20%	94.40	11.59
40%	43.66	7.37
50%	21.80	5.55
60%	0.00	3.74

5 点 費用対効果：B/C 10

4 点 費用対効果：5 B/C < 10

3 点 費用対効果：1 B/C < 5